PRESS RELEASE　2014 年 3 月 14 日

特定非営利活動法人　ワールド・ビジョン・ジャパン

シリアの子どもたちが、世界に向けたメッセージを発信

～国際 NGO が、子どもたちの手によるレポートを発表～

シリアが内戦状態に陥ってから、3 月 15 日で丸 3 年。世界の子どもたちのために働く国際 NGO ワールド・ビジョンは、故郷を追われ難民として暮らす**シリアの子どもたち 140 人が、自らの手でまとめたレポート「STAND WITH ME　私たちの不確かな未来」を発表**しました。

■ 不安と恐怖に翻弄される子どもたち

このレポートでは、子どもたちを取り巻くあらゆる問題が明らかにされています。**日常的な暴力、避難先コミュニティでのいじめ、経済的な不安、女の子が強いられる結婚・・・**。参加した 140 人の子どものうち、**86%が何らかの暴力にさらされている**と回答しています。

ヨルダンの難民キャンプ

「私たちは戦火からは逃げ出せたけど、その先には危険や爆発や誘拐や盗みしかありませんでした。**私たちは、平和に生きることは出来ません。私たちの人生を変え、私たちを傷つける絶え間ない恐怖の中に生きています**」と子どもたちは言います。

（インタビューに応じる子どもたちの動画はこちら： https://www.youtube.com/watch?v=-8qAdZGcjKM）

■ 子どもたちの声に耳を傾けてください

「私たちシリアの子どもは、世界に私たちの声を届け、紛争のために生じている恐怖や苦悩を知ってもらいたいと思い、このレポートを作成しました。**このレポートは、私たちの現実を変える力を持つ国や組織、そして世界に暮らす一人一人に向けてのメッセージです**」と訴えます。

レバノンの難民キャンプで暮らすマナルちゃん（3 歳）。このキャンプで WV は、国連機関と協働で衛生セットやブランケット、赤ちゃん用品などの支援を行っています

「私たちは大きな痛みの中に生きています。世界の人に、私たちの声を聴いてほしい。なぜなら、**私たちはもう耐えられないからです。**避難先の学校で物が壊れると、私たちシリア人のせいにされ、悪口を言われます。家賃もとても高く、テントも十分ではありません。私たちは互いに支えあって生きていますが、**もっと大きな存在が私たちを助けるために動いてくれることを望んでいます**」インタビューを受けた少女は、このように語りました。

（動画はこちら： https://www.youtube.com/watch?v=BGtR7kYMmiQ）

長引く内戦のなかで必死に生きる子どもたちの心の声に、今こそ耳を傾けてください。

レポート全文はこちら： http://www.worldvision.jp/learn/materials.html

ワールド・ビジョン・ジャパンは、シリア危機が早期にかつ平和的に解決することを目指し、3 月 7 日、他 NGO とともに共同書簡を外務大臣に提出しました。この中で、**シリアの人々が紛争による苦しみに包まれることのないよう、あらゆる努力を惜しまないことを宣言することを政府に求めています。**

WVJ はこれからも、現地に支援を届けるとともに、子どもたちの未来にために国際社会に対するアクションを求めていきます。

★ワールド・ビジョン・ジャパンとは？

ワールド・ビジョンは、国連経済社会理事会に公認・登録されたキリスト教精神に基づく国際 NGO で、日本の事務所である特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパンは 1987 年設立。詳しくは　http://www.worldvision.jp　へ

★この件に関するお問合せは

【担当】　市山　志保、浅野　恵子

【電話】　03-5334-5356【FAX】 03-5334-5359　【携帯】090-5762-8886 / 090-6567-9711

PRESS RELEASE　2014 年 3 月 14 日

【E メール】shiho_ichiyama@worldvision.or.jp / keiko_asano@worldvision.or.jp